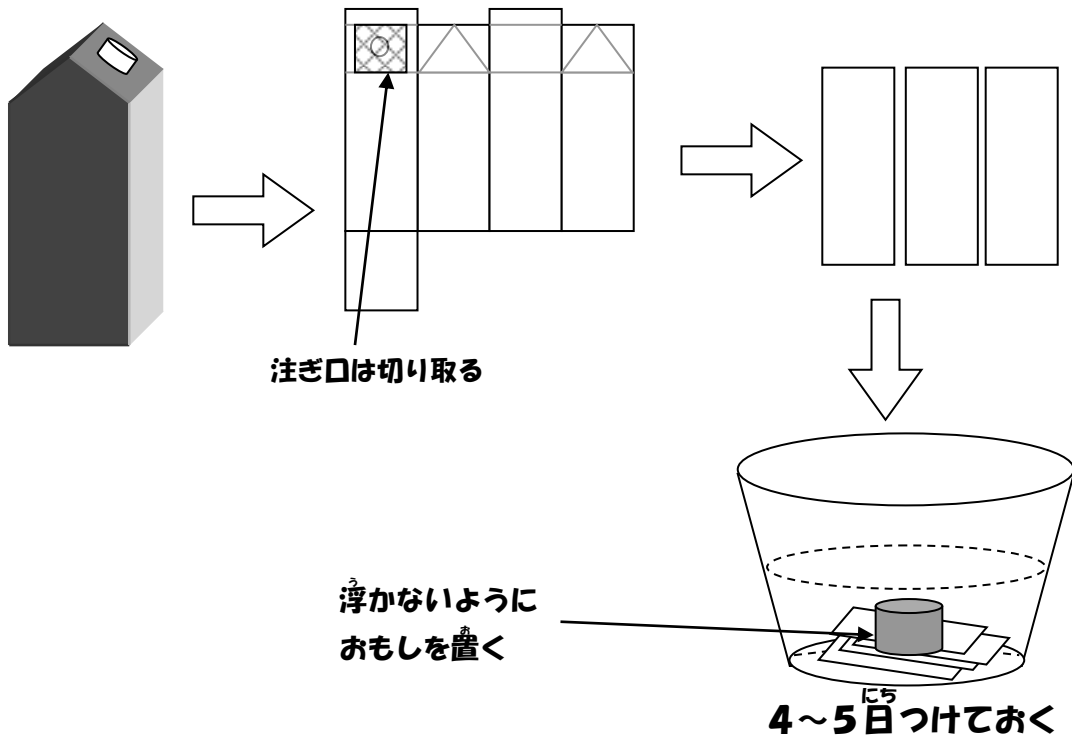
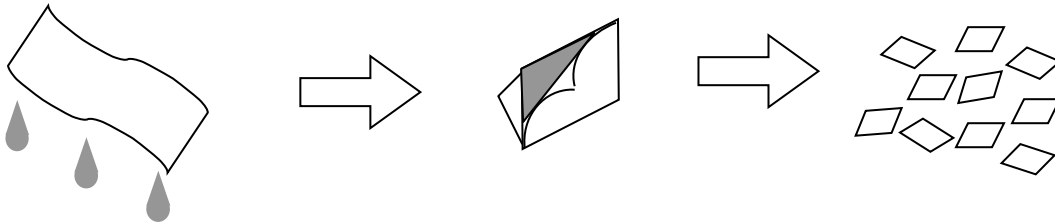


シードペーパーを作ろう！

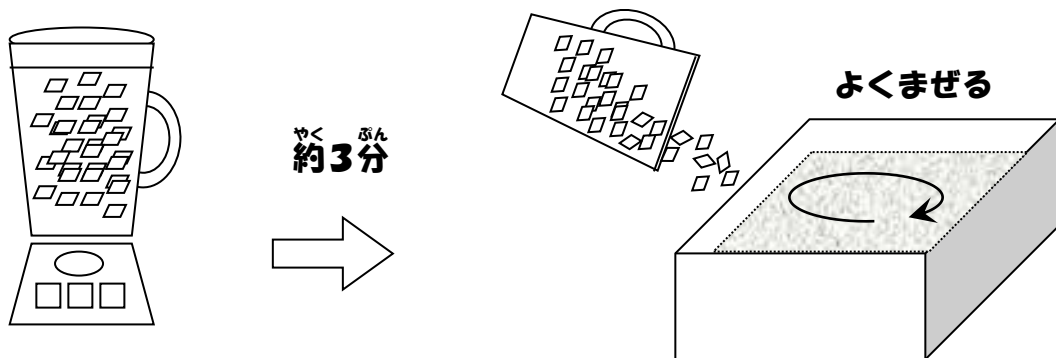
1. 内側にアルミが貼ってある紙パックを^は適切な大きさに切り、^{かみ}水につける



2. 表面の絵柄と内側に貼ってあるアルミをはがし、^{ちい}小さくちぎる



3. ミキサーでよく混ぜてパルプ^{ようえき}溶液を作る

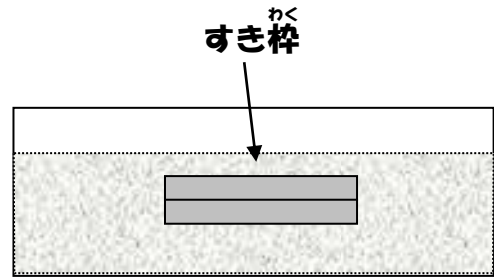


1.8リットルパック^{たい}に対し、水2.5~3リットル

4. パルプをすくい取る

まきすをはさんだすき枠をゆっくり沈め、パルプをすくい取ります。水面近くですき枠の中のパルプの表面が平らになるようにゆり動かします。

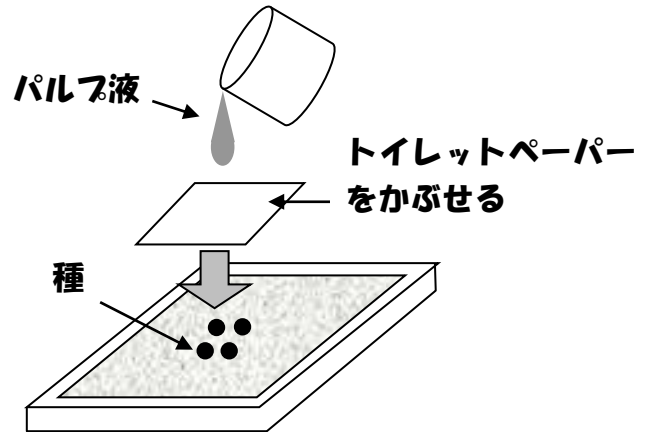
パルプの厚さが5ミリぐらいになるまでくり返します（すくい取ったパルプがこぼれないように注意してください）。



5. 種をすきこむ

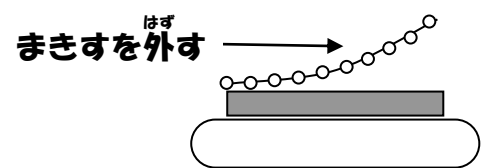
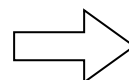
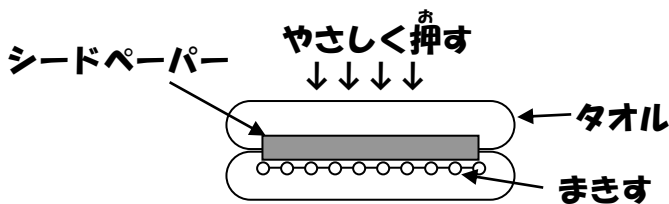
すくい取ったパルプ（すき枠のまま）の、好きな所に、種を置きます。

たねの上に、少し大きめに切ったトイレットペーパーをかぶせて、パルプ溶液を少しずつ、広めに流しこみます（すくい取ったパルプが流れないように）。



6. シードペーパーを外す

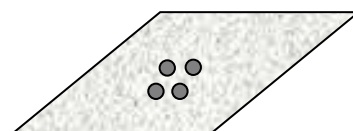
すき枠からまきすを外し、タオルにはさんで水分を取ります。シードペーパーが破れないように、まきすをゆっくり外します。



7. 乾燥させる

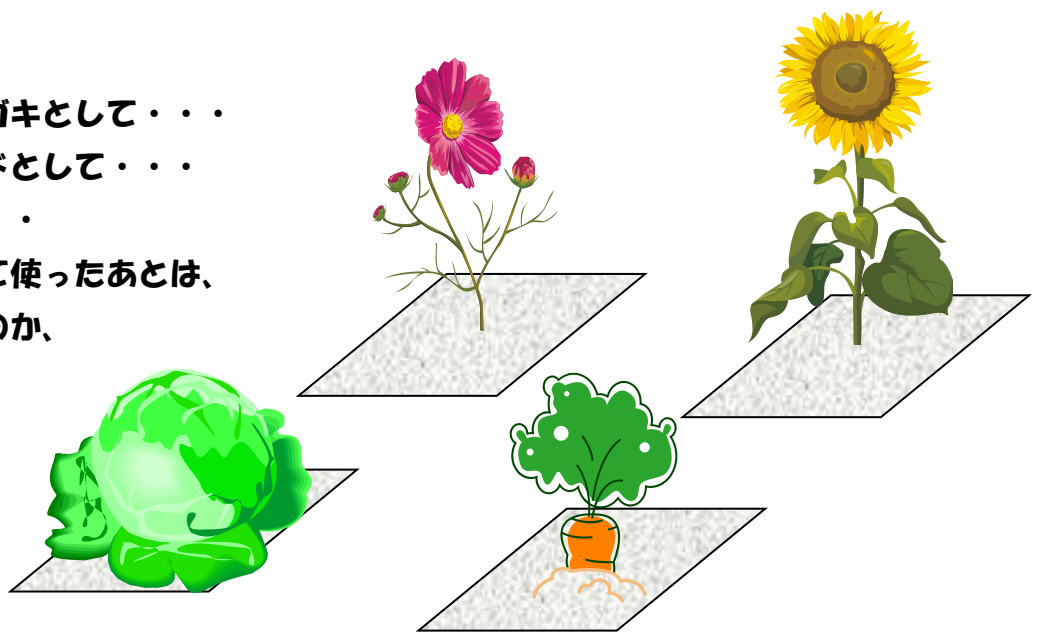
窓ガラスなどに貼るか、平らな所に置いて自然乾燥させます。あらかた乾燥したら、新聞紙にはさみ、おもしろをかけるときれいに仕上がります。

アイロンをかける場合は、種をすきこんでいない所をかけてください。



8. ^{つか}使ってみる

^{しょちゅうみま}暑中見舞いのハガキとして・・・
メッセージカードとして・・・
しおりとして・・・
いろいろ工夫して使ったあとは、
どんな花が咲くのか、
^{たの}楽しみです。



※イラストはイメージです

^{ひとばん}一晩水にひたすと、種に水分が^{ふく}含まれ^{はつが}発芽しやすくなります。

種の説明

《ルッコラ》

アブラナ科の野菜です。タネのまき時は9月中旬～12月。

タネが小さいので、植える前に土を水でしめらせておき、タネをまきます。

まいたあとは、タネの上から指で少量の土をかけ、手の平で軽く押さえて土とタネを密着してください。

水やりは、土が乾いているときにたっぷりとかける程度にします。

生育が早いので、40日程度で収穫ができます。

《カモミール》

小さなマーガレットのような花が咲くハーブです。タネのまきどきは、9月～10月。ルッコラと同じようにタネをまきます。

1～2週間で芽がでます。花が咲いたら、新鮮なうちに摘んで急須に入れお湯をそそぎ、ハーブティにして飲むことができます。また、新鮮なうちに摘んだ花を乾燥して保存し、後日ハーブティとして飲むこともできます。